

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児看護実践論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	寺崎 経子	実務経験と その関連資格	総合病院にて臨床経験 計15年(主に小児病棟勤務) 地域の学校看護師などの経験			
《授業科目における学習内容》						
科目目標: ①事例を用いた看護過程の展開をふまえ、状況に応じた看護を理解する ②健康障害のある子どもの日常生活援助や治療検査に伴う援助について理解する						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】 課題(80%)、演習(20%) 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシンググラフィカ 小児看護学③小児の疾患と看護、中村友彦編、メディカ出版 【参考書】 ナーシンググラフィカ 小児看護学①小児の発達と看護、中野綾美編、メディカ出版 ナーシンググラフィカ 小児看護学②看護技術、中野綾美編、メディカ出版						
《授業外における学習方法》						
1)「小児看護学概論」「小児の健康増進への看護」「小児の健康障害の看護」を復習しておく。 2)事例の看護過程を展開し理解するために、「基礎技術Ⅱ」を復習しておく。						
《履修に当たっての留意点》						
1)グループワークを中心とし模擬事例患者の看護過程の展開し、実践をイメージする。 2)個人課題、グループ課題提出用に学習ファイルを各自で作成し、学習内容をまとめていく。 3)模擬事例患児のイメージしながらより良い看護実践を探究する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	子どもの成長発達の特徴を踏まえて、健康障害の特徴を理解する		教科書「小児看護学①」p99～131,195～199,204～206,249～253学習ファイル	個人で課題に取り組み、その後グループでディスカッションし、必要な知識や情報を小児看護学実習記録様式1を作成する	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の身体的形態的・機能的特徴 ・肺炎の病態生理 ・幼児の肺炎症状、合併症のメカニズム(呼吸困難、発熱、脱水) ・幼児の肺炎の診断と治療効果の判定のための検査 				
第2回	授業を通じての到達目標	子どもの健康障害の治療とその看護を理解する		教科書「小児看護学②」p160～162,134～143,40～45と学習ファイル	個人で課題に取り組み、その後グループでディスカッションし、必要な知識や情報を小児看護学実習記録様式1を作成する	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・肺炎により脱水を生じた幼児の点滴静脈注射の意義と患児の看護 ・肺炎による吸入療法の意義と患児の看護 ・肺炎による安静療法の必要性和患児の看護 				
第3回	授業を通じての到達目標	事例(幼児期、肺炎)の健康障害と入院が成長発達、生活および家族に及ぼす影響を理解する		教科書「小児看護学①」p99～131,p178～193と学習ファイル	個人で課題に取り組み、グループでディスカッションし、小児看護学実習記録様式2にアセスメント内容をまとめる	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・入院が基本的な生活習慣の獲得に及ぼす影響 ・入院が幼児の1日の生活に及ぼす影響 ・入院が幼児の心理面に及ぼす影響 ・入院が幼児の家族に及ぼす影響 				
第4回	授業を通じての到達目標	健康障害と入院が子どもと家族に及ぼす影響を踏まえて、健康回復を目指した看護計画を立案できる		教科書「小児看護学①②③」と学習ファイル	個人で課題に取り組み、グループでディスカッションし、小児看護学実習記録様式3に看護上の問題とその根拠、計画を記載する	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・事例の看護上の問題とその根拠 ・事例の期待される結果 ・事例の看護計画の立案 				
第5回	授業を通じての到達目標	事例の看護計画を実践可能な行動レベルに計画できる		教科書「小児看護学①」p178～193と学習ファイル	小児看護学実習記録様式3に看護計画を記載する	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・観察計画 ・観察や治療時等のプレパレーション ・幼児の認知機能に応じた関わり 				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	事例の状況設定に応じ、看護計画を実施できる【演習】	教科書「小児看護学①②③」と学習ファイル 観察に必要な物品	小児看護学実習記録様式3に演習での学びをふまえ計画の追加修正を記載する
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・バイタルサインの測定 ・吸入の準備、実施、観察 ・抗生剤の準備、投与 ・点滴固定、滴下数の調整 		
第7回	授業を通じての到達目標	事例の状況設定に応じ、看護計画を実施できる【演習】	教科書と学習ファイル 観察に必要な物品	小児看護学実習記録様式3に実施内容・評価を記載する
	各コマにおける授業予定	実際の看護場面をロールプレイを用い実施する		
第8回	授業を通じての到達目標	終講試験		
	各コマにおける授業予定	終講試験		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			